

平和メディク株式会社

高山市上岡本町8-135 代表取締役 黒川 宣彦
雇用状況/平成23年4月雇用人数…1人(飛騨特別支援学校卒業)

障がい者を雇用した理由は

以前から障がい者雇用をしています。先代(会社創業者)自身が障がい者であったこともあり、その思いを受け継ぎ、数名の障がい者を受け入れております。そんな中、特別支援学校の企業内作業学習や現場実習に協力させていただき、生徒さんが真面目にコツコツ働く姿や一生懸命コミュニケーションを取ろうとしている姿に、他の社員も感銘を受けました。

仕事内容、働きぶりは

今回採用させていただいた方は、入社前の段階では障がい者ということで、生産性や作業効率など過小評価しておりました。しかし、入社後は、企業内作業学習や現場実習で学んだことを積極的に活かし、期待以上の働きをしてくれています。今では当初予定していたキャンディー棒の検品作業のみならず、製造器の操作や医薬品製造ラインでの検品作業など、マルチな作業員として活躍し始めています。

障がい者を雇用するにあたり工夫していること、配慮していることは

弊社では、できる限り健常者と同様に接しています。障がい者として特別扱いすることなく、一社員としてもてる力を十分に発揮していただき、それに応じた目標管理(生産性管理)をしています。それにより、常に“やる気”をもって仕事をしてもらえ、環境を作っています。

また、採用にあたっては、企業内作業学習や現場実習を受け入れることで、生徒さんの適性や能力などを見極められる良い機会だと考えています。

障がい者を雇用してよかったことは

なにより採用した本人が、毎日、生き生き仕事をしている姿を見ると、雇用して良かったと感じます。障がいを抱えながらも、笑顔で積極的にコミュニケーションをとり、日々努力している姿は、他の社員の見本となっており、数字には表れない大きなプラス面となっています。



キャンディー棒の点検作業を行う清水さん

卒業生のコメント

出勤するのがとても楽しいです。職場の先輩方が私のことをとても可愛がってくれます。仕事について親切に教えてくれ、休日には食事や買い物に誘ってくれたりします。よく声もかけていただくので、悩みごと相談できます。

就職した頃の仕事は、紙軸の検品のみでしたが、今は医薬品部署の仕事など5種類以上の工程をやらせてもらっています。仕事内容を覚えるのは大変ですが、やりがいがあります。不良品がお客さんの手に渡らないように気をつけています。

【清水 春奈さん(飛騨特別支援学校卒業)】

株式会社 大垣共立銀行

大垣市郭町3丁目98 頭取 土屋 嶮
雇用状況/平成23年4月雇用人数…3人(大垣特支2人、岐阜本巣特支1人)

障がい者を雇用した理由は

地域に根ざした銀行として、障がい者の自立支援・雇用創出に積極的に取り組むことは社会的使命と考えており、地域貢献の観点からも、金融業では唯一「働きたい!応援団 ぎふ」のサポーター企業となり、平成23年4月から特別支援学校卒業生の雇用を開始しました。

仕事内容、働きぶりは

- ノベルティの製作(鉛筆の封入作業)
- 営業店の装飾品の製作(窓口等に設置する季節をテーマにした飾り)
- 定型事務業務(ゴム印押し、ポスター巻き、ダイレクトメールの封入、書類の帳合・仕分けなど)

毎日元気に明るく仕事をしています。
指示をよく理解して、丁寧かつ迅速に作業を進めてもらっています。

障がい者を雇用するにあたり工夫していること、配慮していることは

障がい者がやりがいを持って仕事を行うことができる環境を整備するため、平成23年12月に障がい者が専門的に就労する事業所「OKB工房」を地元商店街にオープンしました。

本店各部署及び各営業店に調査を行い、障がい特性に応じた職務の開発を行っています。

障がい者を雇用してよかったことは

職員が和気あいあいと楽しく仕事に励んでもらっているので嬉しく思っています。丁寧な仕事ぶりに、仕事を依頼した部署からは感謝の声をたくさんもらっています。装飾品についても来店されたお客様の評判がたいへんよく、喜ばれています。



ノベルティの製作(鉛筆の封入作業)に取り組む古澤さんと西村さん

卒業生のコメント

学校時代の友達が同僚なので、安心して仕事をしています。先輩になったら、後輩に仕事を教えることができようになりたいです。

【古澤 采果さん(大垣特別支援学校卒業)】

ノベルティや装飾の製作は、みんなの役に立つ仕事なので楽しいです。お客様に喜んでもらえるような装飾を作ることができるようがんばりたいです。

【西村 歩祐里さん(大垣特別支援学校卒業)】